

ドイツから 大学生訪問団が来市

姉妹都市ドイツヘルツタール（ドイツ）のあるミュンヘン大学の大学生9人が来市し、市内の家庭にホームステイしながら日本の日常生活を体験しました。

一行は滞在中、日本語の学習をはじめ書道、益子焼、華道、着物着付け、弓道、勾玉づくりなど、さまざまな日本文化を体験しました。学生たちははじめて触れる日本の文化に興味津々の様子で、すべての体験に熱心に取り組みました。また、今回初めてとなる地元石橋高校の生徒との交流や市内の小学生とのバーベキューも楽しみました。一行は約2週間の生活を共にしたホストファミリーとの別れを惜しみつつ、将来の再会を約束しながら、9月1日、下野市を後にしました。

